

## 資料室便り

交通専門図書館  
交通経済研究所資料室

交通経済研究所資料室で収集・保管している資料をご紹介します。交通に関心のある本誌読者のみなさまの一助となれば幸いです。

### 新着書棚から（新しく受け入れた資料の紹介）

#### 『日本の観光』

——昭和初期観光パンフレットに見る』

谷沢明著／八坂書房発行／2020年9月／菊判／  
312ページ／3,600円＋税

本書は、観光文化論の研究者（愛知淑徳大学教授）が、旅行案内書や鳥瞰図を参考にしながら、昭和初期の観光パンフレットに注目して、当時の日本の観光地の状況や観光旅行のスタイルなどを読み解いたものである。大正から昭和初期にかけて発行された『鉄道旅行案内』、『日本案内記』、『旅程と費用概算』など評価が高い旅行案内書や、吉田初三郎などが作成した鳥瞰図とともに、昭和初期に発行された観光パンフレットにも目を通すことで、各地でどのような点がアピールされ、庶民がどのように観光を楽しんだかをうかがい知ることができる。

目次：日本の観光——昭和初期／北海道の自然美探勝／東北地方の名所／日光とその周辺を巡る／箱根・富士・伊豆遊覧／東京近郊の遊覧地と行楽／信越地方へのスキー旅行／瀬戸内海を巡る船旅／九州の景勝地を巡る旅  
古森 □

#### 『フィジカルインターネット』

——企業間の壁崩す物流革命』

エリック・バロー、ブノア・モントルイユ、ラッセル・D・メラー著、荒木勉訳／日経 BP 発行／  
2020年6月／A5判／272ページ／2,500円＋税

本書は、フランスの陸上輸送研究・技術革新調整プログラム「Predit」が支援した研究成果の翻訳である。フィジカルインターネットとは、顧客のニーズと技術の進歩で複雑化した「モノの移動」のネットワークを最大限に共有・適正化し、より効率的で環境負荷の小さいものにしようという試みを指す。その実現には、物流機器の標準化や輸送拠点となる鉄道・道路施設のデザイン変更など、企業努力のみならず国を挙げての整備が必要のため、訳者が設立に参画したヤマトグループ総合研究所が中心となって国内の官庁へ支援を働きかけると同時に、日・米・欧共同で日本国内に広める活動をおこなっている。

目次：持続可能な物流のための新しいロジスティクスネットワーク／フィジカルインターネットの主要な構成要素／フィジカルインターネット、その性能は？／現在のプロジェクトと展望／ほか

田邊 □

### 新着情報（2020年9月分）

\*資料室で入手した主要図書をお伝えします。

記事の構成：書名、編著者名、発行所、発行年月

#### <和 書>

- 1 交通安全白書 令和2年版 内閣府編 勝美印刷 2020年8月
- 2 交通政策白書 令和2年版 国土交通省編 勝美印刷 2020年8月
- 3 交通弱者対策（住民の移動手段の確保）／SDGsへの取り組み 日本都市センター編 同法人 2020年3月
- 4 交通インフラの地域経済効果と財源問題に関する調査研究 篠原隆介、宮崎智視、近藤春生 日本交通政策研究会 2020年7月
- 5 日本の観光——昭和初期観光パンフレットに見

- る 谷沢明 八坂書房 2020年9月
- 6 新しいモビリティサービスの評価と都市交通計画 高見淳史, 上条陽, 原田昇, ほか 日本交通政策研究会 2020年7月
  - 7 ストリートファイト——人間の街路を取り戻したニューヨーク市交通局長の闘い ジャネット・サディク=カーン, セス・ソロモノウ 中島直人監訳 学芸出版社 2020年9月
  - 8 新幹線を運行する技術 梅原淳 SBクリエイティブ 2020年9月
  - 9 長野電鉄百年探訪 今尾恵介著, 信濃毎日新聞社編 同社 2020年8月
  - 10 全国主要都市駅別乗降者数総覧2020 エンタテインメントビジネス総合研究所編 同社 2020年9月
  - 11 自動車レンタリース年鑑2020 全国レンタカー協会監修 交通毎日新聞社 2020年
  - 12 我が国における自動運転車利用時の時間価値に関する基礎研究 加藤浩徳 日本交通政策研究会 2020年6月
  - 13 日本全国路線バス大図鑑 イカロス出版 同社 2020年9月
  - 14 「みなと」のインフラ学 山縣宣彦, 加藤一誠編 成山堂書店 2020年8月
  - 15 数字でみる航空2020 国土交通省航空局監修 日本航空協会 2020年9月
- <外国書>
- 16 Implications of Mobility as a Service (MaaS) in Urban and Rural Environments Antonio Manuel Amaral, Luis Barreto, ほか編 IGI Global 2020年
  - 17 Policy Implications of Autonomous Vehicles Dimitris Milakis, Nikolas Thomopoulos, ほか編 Academic Press 2020年
  - 18 Channel Tunnel——25 Years of Experience David Haydock Platform 5 Publishing 2020年
  - 19 Humanizing Cities Through Car-Free City Development and Transformation Rahma M. Doheim, Alshimaa Aboelmakarem Farag, ほか編 IGI Global 2020年

## 書庫のなかから (所蔵資料の紹介)

### 『鉄道講義要領』

関一著／同文館発行／1905年

本書が刊行された明治30年代、日本は日清戦後の反動不況を経て日露開戦へと向かっており、また鉄道政策においては各地で林立する私設鉄道の国有化議論が盛んに行われていた時代だった。こうした時代背景の中、日本の初期交通学研究において最大の貢献をした人物と言われているのが関である。当時、東京高等商業学校(現・一橋大学)教授だった関は、学生のための教材として本書を執筆した。その内容を見ると、鉄道業の経営的側面に重心を置きつつも、それを取り巻く国民経済的視点、さらにそれらを包含する政策論的視点から著述されていることが読み取れる。なお、東京高商を退職後、関は大阪市助役および大阪市長を務めており、市営の地下鉄やバス事業をはじめとするさまざまな都市政策を実行した。 原□

## 交通経済研究所資料室のご案内

交通経済研究所では、交通に関する調査・研究を目的とされている方へ所蔵資料の一部を公開しています。利用方法の詳細につきましては、私どものホームページをご覧ください。

一般財団法人 交通経済研究所 資料室

住 所：東京都台東区上野7-1-1

郵便番号：110-0005

電話番号：03-3841-4165

ファックス：03-3841-4859

URL：<https://www.itej.or.jp/>

最寄駅：JR／東京メトロ 上野駅から徒歩3分

【お願い】新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として各種対応を行っています。来室のさいには、マスク着用および手指消毒にご協力をお願いします。

担当：土方規義 古森崇史 原祥太 田邊由佳